



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 ジャパン・フード&リカー・アライアンス株式会社 上場取引所 大
 コード番号 2538 URL http://www.j-fla.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 武司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務計画部長 (氏名) 杉 義継 (TEL) 06-6444-5293
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日~平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	21,864	0.3	441	39.9	166	54.3	83	
23年9月期第3四半期	21,802	5.3	735	25.8	363	29.6	94	831.0

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 44百万円(%) 23年9月期第3四半期 162百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	1.29	
23年9月期第3四半期	1.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	30,409	8,435	27.7
23年9月期	29,594	8,480	28.7

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 8,435百万円 23年9月期 8,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期				0.00	0.00
24年9月期					
24年9月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年9月期の期末配当予想額については、未定であります。

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日~平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,800	3.8	900	0.7	500	26.1	100	228.3	1.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、 除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期3Q	68,004,520株	23年9月期	68,004,520株
期末自己株式数	24年9月期3Q	3,244,310株	23年9月期	3,243,918株
期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期3Q	64,760,254株	23年9月期3Q	64,761,436株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。
 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 配当については、業績に応じた適正な利益還元を行うことを基本方針とし、企業体質の一層の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して決定しております。現時点においては事業環境に不透明な要因が多いことから配当予想額を未定としておりますが、開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から持ち直しの動きがみられる一方で、円高や欧州の信用不安、原油をはじめとした原料高の懸念等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、円高メリットを活かした価格戦略、新商品の導入、新規取引先開拓及び既存取引先の深耕を図り、商品シェア拡大と収益力の向上に努めました。この取り組みにより、輸入食品類・酒類販売事業は順調に売上を伸ばしましたが、食品類・酒類事業は厳しい市場環境により苦戦を強いられることになりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は21,864百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は441百万円(前年同期比39.9%減)、経常利益は166百万円(前年同期比54.3%減)、四半期純損失は83百万円(前年同期は94百万円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(食品類・酒類事業)

醤油につきましては、食に対する消費者ニーズの多様化により、需要が加工度の高いつゆ・たれ類に推移しており、市場の縮小基調が続いております。家庭用商品は、主力量販店への拡販や新規取引先獲得を進めましたが売上は減少しました。業務用商品は、大手取引先の生産拠点の移転及び内製化への移行等の影響により売上が減少しました。

つゆ・たれ類につきましては、メーカー各社の熾烈な競争の中、家庭用商品の「極淡白だし500ml」「醤の郷 すきやきのたれ500ml」「特選白だし1L」等の売上が好調に推移しました。また、2012年春夏新商品として、だし醤油3品「いりこ醤油360ml」「あご醤油360ml」「海鮮だし醤油300ml」に加え「ぎょうざのたれ150ml」を発売しました。一方、業務用商品は、大手取引先の生産拠点の移転及び内製化への移行等の影響により売上が減少しました。

その他調味料につきましては、家庭用の主力商品である「料理酒1Lペット」の売上が増加しました。また、有機関連の差別化商品である「有機純米料理酒500ml」「有機みりんタイプ500ml」も売上が順調に推移しました。業務用商品は、新規取引先の開拓等により売上を大きく伸ばしました。

漬物につきましては、市場は依然として高価格商品の需要が減少し、低価格化が進んでおります。主力のなら漬は、お手頃価格の「あっさりなら漬きゅうり」が新規取引先の導入により堅調に推移したものの、市場環境の影響を受けた高価格商品の低迷等により売上が減少しました。

飲料につきましては、季節商品の「くりほうじ茶」「べにふうき緑茶」「さくら緑茶」の新規導入や新規取引先の開拓を進めたものの、アイテム見直しによる終売商品の発生等により売上が減少しました。

酒類につきましては、清酒は、「尾張常滑郷の鬼ころし2Lパック」「尾張男山2Lパック」等の経済酒が、競合他社の低価格販売のあおりを受けたこと等により売上が減少しました。清酒以外では、「蔵出し 本みりん」が新規取引先開拓等により売上を大きく伸ばしました。

この結果、当事業の売上高は13,486百万円(前年同期比4.5%減)、セグメント利益(営業利益)は120百万円(前年同期比67.3%減)となりました。

(輸入食品類・酒類販売事業)

業務用食材につきましては、米国産キャビアが正月おせちやエアラインファーストクラスに採用されました。さらに、世界一と評価されているスペイン産イベリコ生ハム「ホセリートブランド」に加え、スペイン産子豚の新規導入、問屋取引の強化、ブライダル市場の開拓等の営業施策が順調に推移したことにより売上が増加しました。

製菓用食材につきましては、コンビニ用スイーツ市場へのクリームチーズ拡販を目的にした大手洋菓子製造会社の開拓が進み、ユーザーの増加に成功しました。また、関西発ヒット焼き菓子商品に採用されている製菓材商品の売上が増加しました。

小売用商品につきましては、従来からの主力商品であるボンヌママンブランドのジャムは、大手卸店との取組強化により取引店舗数が増加したことにより売上が増加しました。また、クリスマス用商材の新商品が売上に貢献しました。

ワイン類につきましては、主力商品である「ボランジェ」「シャンソン」「アヤラ」は、円高メリットを活かした販路拡大を行い売上の伸長に寄与しました。積極的に導入を進めている中低価格帯商品は、安定的に市場に受け入れられ順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は7,425百万円(前年同期比9.0%増)、セグメント利益(営業利益)は186百万円(前年同期比25.5%減)となりました。

(水産品加工販売事業)

㈱イメックスにつきましては、市場環境の厳しい中、主力商品の「ラングスティーナ」の売上が、対象顧客であるブライダル関連で好調に推移しました。また、冷凍フィレ、オリジナル加工品のタイヤズズキ等のマリネが、新規のホテル・レストランにメニュー採用されたこと等により売上が増加しました。

㈱ブルーゲイツにつきましては、外食・中食チェーンに対する食材・たれ・調味料の一括提案を含めたメニュー企画、商社・大手問屋への商品企画等の企画提案型営業を進めております。鮮魚の原料高はあったものの、利益重視の販売及びコスト削減を実施したこと等により増収・増益となりました。

この結果、当事業の売上高は924百万円(前年同期比11.6%増)、セグメント利益(営業利益)は13百万円(前年同期比36.7%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金が1,062百万円、受取手形及び売掛金が516百万円増加し、商品及び製品が82百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ1,373百万円増加し、14,129百万円となりました。固定資産は、土地が77百万円、のれんが231百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ546百万円減少し、16,265百万円となりました。その結果、総資産は前連結会計年度末に比べ815百万円増加し、30,409百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、支払手形及び買掛金が668百万円、1年内償還予定の社債が1,000百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ1,756百万円増加し、19,334百万円となりました。固定負債は、社債が1,022百万円減少したこと等から、前連結会計年度末に比べ896百万円減少し、2,639百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純損失83百万円により利益剰余金が減少し、繰延ヘッジ損益が31百万円増加したこと等から、前連結会計年度末に比べ45百万円減少し、8,435百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、今後も厳しい状況が続くものと予想しております。このような事業環境の中、既存の食品事業領域における着実な成長と、経営の効率化により財務体質の健全化を図ってまいります。

なお、平成23年11月11日付「平成23年9月期決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300	2,363
受取手形及び売掛金	5,416	5,932
商品及び製品	2,762	2,679
仕掛品	1,874	1,897
原材料及び貯蔵品	621	655
その他	825	645
貸倒引当金	46	45
流動資産合計	12,755	14,129
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,108	7,030
その他(純額)	3,690	3,558
有形固定資産合計	10,798	10,589
無形固定資産		
のれん	4,196	3,965
その他	263	322
無形固定資産合計	4,460	4,288
投資その他の資産		
その他	1,800	1,755
貸倒引当金	246	366
投資その他の資産合計	1,553	1,388
固定資産合計	16,812	16,265
繰延資産	26	14
資産合計	29,594	30,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,209	2,877
短期借入金	13,111	12,649
1年内返済予定の長期借入金	356	373
1年内償還予定の社債	44	1,044
未払法人税等	58	91
賞与引当金	127	142
その他	1,670	2,153
流動負債合計	17,578	19,334
固定負債		
社債	1,187	165
長期借入金	1,488	1,656
退職給付引当金	432	345
その他	427	472
固定負債合計	3,535	2,639
負債合計	21,113	21,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,773	2,773
資本剰余金	7,719	7,719
利益剰余金	1,525	1,608
自己株式	376	376
株主資本合計	8,591	8,507
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	5
繰延ヘッジ損益	107	75
為替換算調整勘定	8	8
その他の包括利益累計額合計	110	72
純資産合計	8,480	8,435
負債純資産合計	29,594	30,409

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	21,802	21,864
売上原価	14,221	14,371
売上総利益	7,581	7,492
販売費及び一般管理費	6,845	7,051
営業利益	735	441
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	3	4
為替差益	36	41
持分法による投資利益	9	0
その他	37	35
営業外収益合計	96	93
営業外費用		
支払利息	331	312
その他	137	55
営業外費用合計	468	368
経常利益	363	166
特別利益		
投資有価証券売却益	-	24
貸倒引当金戻入額	8	-
その他	0	-
特別利益合計	8	24
特別損失		
減損損失	-	55
その他	113	12
特別損失合計	113	68
税金等調整前四半期純利益	258	122
法人税、住民税及び事業税	40	92
法人税等調整額	123	113
法人税等合計	163	205
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	94	83
少数株主利益	-	-
四半期純利益又は四半期純損失()	94	83

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	94	83
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	6
繰延ヘッジ損益	67	31
為替換算調整勘定	0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	68	38
四半期包括利益	162	44
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162	44
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。